

国語(第1回)

		得点率 (%)
1 説明文	問一	63.6
	問二	77.0
	問三	84.0
	問四	68.5
	問五	62.2
	問六	85.8
	問七	91.6
	問八	85.3
2 物語文	問一	85.8
	問二	46.7
	問三	40.9
	問四	98.6
	問五	48.2
	問六	95.7
	問七	28.1
	問八	92.7

合格者最高点 93

合格者最低点 63

1

出典：三森ゆりか『外国語を身につけるための日本語レッスン』

問一 1頁上段 19行目傍線(1)「あなたは何をしましたか」という質問に関して、先生が日本人生徒に期待したのは、どのように答えることだったのかを問う問題です。全体的にはよくできていましたが、設問が「日本人生徒がどのように答えることですか」とあるのに、「～してもらふこと」というように、外れた答案が見られました。得点率は約64%でした。

問二 1頁下段 36行目傍線(2)「私にはよく理解できない」という外国人教師のことばに関して、もし日本人同士の会話であったら、相手の答えが理解できない場合、聞き手はどうするかを問う問題です。解答としては「理解できない」と指摘しない、「わからないままにしておく」、「そのまま通りすぎてゆく」という2つの要素が必要ですが、何を指摘しないのか、といったことが述べられていない答案が多くありました。得点率は約77%でした。

問三 1頁下段 36行目傍線(3)「余計なことに気を回さず」とありますが、上段の19行目から26行目に紹介されている会話の日本人生徒の考えはどれかを選ぶ問題です。24行目の「特に何もしませんでした」に着目すれば、「普通ではない、特別なことは何もなかった」ということですから、選択肢ではアが正解となります。よくできていました。

- 問四 2 頁上段 66 行目 (4) 「一般的な日本人の言語環境」とありますが、そのなかにおいて重視されていることを文中から 15 字以内で抜き出す問題です。1 頁上段 1 行目にある「察し合うこと。気を配ること」を抜き出します。よくできていましたが、誤答としては「多くを語らないこと」「心でなんとなく感受する」「無粋なことをしてはならないこと」などが見られました。得点率は約 69% でした。
- 問五 2 頁下段 102 行目傍線 (5) 「ヨーロッパ人、そしておそらくはアメリカ人に対しても、この感覚は通用しません」とありますが、ヨーロッパ人やアメリカ人とコミュニケーションをするために必要なことは何かを説明する問題です。見当はずれの答えはほとんどなく、概ね良好でしたが、解答としては本文の前半の内容に沿って述べるべきところを、後半の内容も併せて書いたものも多く見られました。得点率は約 62% でした。
- 問六 接続詞を選ぶ問題です。□ A □ は直前に「感嘆詞を並べられれば十分です」、後に「対象への印象批評ができれば十分」とあり、まとめの接続詞エ「つまり」が入ります。□ B □ は直前に「日本の文化では多くを語らないことが美德とされてきました」、後には「個人の心の中にある感動を無理矢理に言語化させるなどという無粋なことはしてはならないことでした」とあり、前の事項の一部を特化したこと後に続いていますので、アの「とりわけ」が入ります。□ C □ は前に日本人のことが書かれていて、後に、日本人とは異なるヨーロッパ人の話になるので、逆接のイ「ところが」が入ります。□ D □ はそれまで述べてきたことを踏まえて、読者への投げかけが続いていますので、ウの「ところで」が入ります。よくできていましたが、誤答としては、A をア、B をエとしているものも多く見られました。得点率は約 86% でした。
- 問七 漢字の書き取りの問題です。大変よくできていて、得点率は約 92% でした。誤答としては、「温暖」の「暖」が目へん、「演奏」の「奏」の下部が「夫」、「要素」となっているものがありました。
- 問八 本文の内容に合致するものを答える問題です。この文章の後半に、ヨーロッパ人は「よかった」という感想だけでなく、その理由も問うから、それも言語化できなければならないといったことが述べられていますので、それに合致する、ウが正解です。概ね良好で、得点率は約 85% でした。

2

出典：大沼紀子「僕らのパレード」（『空ちゃんの食卓』所収）

- 問一 4頁上段3行目傍線（1）「サンちゃん」という名称の本当の意味を答える問題です。5頁下段122行目「三本足でも、お前はちゃんと走れる、だからサンちゃん」を参照し、解答します。よくできていました。得点率は約86%でした。
- 問二 4頁上段34行目傍線（2）「むずむずしてきた」という語句に示された「僕」の気持ちを問う問題です。4頁下段33行目「言いたいことがあるんなら、言っちゃえばいいじゃん」とありますので、「言いたいことがあるのに、言い出せない気持ち」が正解となります。誤答としては「恥ずかしい気持ち」というような答案が散見されました。得点率は約47%でした。
- 問三 4頁下段47行目傍線（3）「あの、僕…。サムって、名前やろ？」とあるように、「僕」がサムという自分の名前について話した意図を説明する問題です。「サンちゃんはそう呼ばれるとうれしがっているようなので、名前を変える必要はないということ」といった内容が正解となりますが、「サンちゃんがよくこんでいる」ことに言及できた答案は少なく、また、「それでよい」というように、何がよいのかを明確にできていないものも散見されました。やや難しかったようで、得点率は約41%にとどまりました。
- 問四 4頁下段47行目 に入る四字のことばを本文中から抜き出す問題です。直後に「略して」とありますので、「サム」という語を含む四字の語に絞られますので、50行目「ハンサム」が正解です。ほとんど誤答はなく、得点率は約99%でした。
- 問五 5頁下段98行目傍線（5）「そうしてサンちゃんの名前は、サンちゃんのままでいいことになった」理由として、サンちゃんがどのような行動をとったことが考えられるかというのを問う問題です。104行目に「サンちゃんのぶんぶんふられたしっぽを見たら」とありますので、「ぶんぶんしっぽをふったから」が正解です。別の場面の「よろこんで走ってきてくれる」という箇所を用いている答案が多く見られました。得点率は約48%でした。
- 問六 「足」を用いた慣用句を問う問題でした。きわめてよくできていました。得点率は約96%でした。
- 問七 5頁下段128行目傍線（7）「吉川くんはめずらしく声をあげて笑い」の理由を問う問題です。「めずらしく」とあるので、いつもとは異なる今日の出来事が理由であることがわかりますので、正解としては「サンちゃんの名前を変えられずにすんだ」と「そのことをサンちゃんも喜んでいるように感じた」の2つの要素が必要となりますが、片方のみの答案が多く見られました。得点率は約28%にとどまりました。

問八 本文の内容に合致するものを答える問題です。この文章の主な内容は、サムがサンちゃんという名前を擁護したこと、サンちゃんと呼んでサンちゃんが喜んでいるようなので、名前は変えられずにすんだということ、ですので、それに合致するのは、ウです。よくできていて、得点率は約93%でした。